

第9章 ユーザー定義文字のロード (Telnet5250E 接続)

ユーザー定義文字を使用するには、ユーザーが System i (iSeries, AS/400) 上で文字作成ユーティリティ (CGU) を使用して作成したユーザー定義文字セットを 5400 エミュレーター II へロードしておく必要があります。

ユーザー定義文字をロードするには、ロード・ユーティリティが必要となります。(ロード・ユーティリティは、Web サイトからダウンロードして入手することが出来ます。)

参考資料:

ADTS/400 文字作成ユーティリティ (CGU) 資料番号: SC88-5196

ユーザー定義文字セット

ユーザー定義文字セットは、お客様が CGU で作成するもので、CGU は 24 ドット x24 ドットおよび、32 ドット x32 ドットの 2 種類の文字セットをサポートしています。5400 エミュレーター II では、24 ドット x24 ドットのユーザー定義文字のみサポートしています。

5400 Emulator II では、4370 文字までロードが可能です。

LODPPW (文字ロード) コマンド

ユーザー定義文字セットをロードするには、LODPPW コマンドを使用します。コマンド・パラメータ、コマンドの入力方法については、54 ページの『LOPPW コマンドの入力例』を参照してください。

コマンド・パラメーター

文字ロードコマンド・パラメータは、次のとおりです。(文中で下線が引かれた値が省略時の値です。)

DEV パラメータ	出力する印刷記述名を指定します。
<u>*FILE</u>	出力装置は、APW/APPW 用印刷装置ファイル (QPPPPRT) に指定されている印刷記述名と同じである事を示します。
*JOB	現ジョブに割り振られた印刷装置に出力します。
*SYSVAL	システム値に設定された印刷装置に出力します。
*出力装置名	出力する印刷装置記述名を指定します。

補足: 印刷装置ファイル QPPPPRT が SPOOL=*NO で指定されている時に、DEV パラメータに *FILE を指定すると、エラー・メッセージ「APP5101 印刷装置ファイル QAPS/QPPPPRT がオープンできない」が表示され、ロードできません。その場合は、'OVRPRTF FILE (QPPPPRT) SPOOL (*YES) 'と入力後、LODPPW コマンドを実行してください。

IGCSIZE パラメーター 文字セットの大きさを指定します。大きさは、次の 3 種類がありますが、ここでは、24 を指定してください。

- 24 : 24 ドット x24 ドット
- 32 : 32 ドット x32 ドット
- 40 : 40 ドット x40 ドット

OPTION パラメータ 以前にロードした文字セットを削除するかどうかの指定です。
*LOAD 新しい文字セットをロードする場合に指定します。

*CLEAR 以前にロードした文字セットを削除する場合に指定します。

補足：新しい文字セットをロードするときには、OPTION パラメータを*CLEAR に指定して、以前にロードした文字セットを削除したあと、OPTION パラメータを*LOAD に指定して新しい文字セットをロードしてください。

RANGE パラメーター ロードする文字の範囲を開始番号・終了番号で指定します。

開始番号・終了番号とは、DBCS フォント・テーブル上のユーザー定義文字エン트리番号を指定します。例えば、最初のユーザー定義可能な IBM 漢字コード'6941'は、エン트리番号1になります。下記に IBM 漢字コードとエン트리番号の関係を示します。

エン트리番号	IBM 漢字コード
1	6941
2	6942
3	6943
・	・
・	・
・	・
4370	・

ロード可能な文字数には、制限があります。指定しない場合は、全てのユーザー定義文字がロードされます。4370 文字を超える文字が送られた場合、登録可能な文字数を超えるユーザー定義文字は、読み捨てられます。

*FIRST DBCS フォント・テーブル上の最初のユーザー定義文字を示します。

*LAST DBCS フォント・テーブル上の最後のユーザー定義文字を示します。

コマンドの入力

LODPPW コマンドは、次のどちらかの方法で入力してください。

- コマンド入力行またはプログラマー・メニューで選択項目 5 を選択後、パラメータ付きのコマンド全体を入力します。
- LODPPW を入力し、**F4** キーを押します。

LODPPW コマンド入力例

1. LODPPW コマンドの出力先がスプール・ファイルであることを確認します。必要に応じて次のように OVRPRTF コマンドを実行し、出力先がスプール・ファイルになるように印刷装置ファイルを一時変更します。
OVRPRTF FILE (QPPPPRT) SPOOL (*YES)
2. 次のように LODPPW コマンドを実行して、ユーザー定義文字データを含んだスプール・ファイルを作成します。必要に応じて他のパラメータも指定します。通常、作成されるスプール・ファイル名は QPPPPRT となります。
LODPPW IGCSIZE (24)
3. 上記の手順 1 で印刷装置ファイルを一時変更した場合は、その設定を解除します。
DLTOVR FILE (QPPPPRT)
4. ユーザー定義文字をロードする 5400 エミュレーター II に、作成したスプール・ファイルを出力します。ユーザー定義文字のロードが正常に終了すると、白紙が紙送りされます。
5. 5400 エミュレーター II を再起動します。